

柏原地域密着型高齢者施設太寿（特養・グループホーム）

第40回（通算回数）運営推進会議記録

開催日時 平成30年5月8日（火）AM10時30分～11時30分

開催場所 柏原地域密着型高齢者施設 太寿 1F 地域交流スペース

【構成メンバー】

入居者 2名（特養・グループホーム） 地域住民代表者（地区福祉委員）3名
入居者家族 2名（特養・グループホーム） 柏原包括支援センター 1名
柏原市職員 1名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名
施設職員 3名（常務理事兼施設長・太寿副施設長・グループホーム管理者）
構成メンバー総数 13名

【当日参加者】

入居者 0名 地域住民代表者（地区福祉委員）2名
入居者家族 1名 柏原市包括支援センター 1名
柏原市職員 1名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名
施設職員 3名（太寿副施設長・GH管理者・GHユニットリーダー）
出席者総数 9名

【議題・式次第等】

1. 開会挨拶
2. 前回の懸案事項の回答・報告
3. 特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告、事故及びヒヤリハット等の報告
4. グループホーム太寿 活動状況報告、事故及びヒヤリハット等の報告
（現時点の入居者数・待機者数・介護度別年齢別入居者等の状況説明等）
5. 柏原寿光園デイサービスセンター 活動状況報告
6. その他

1 開会挨拶

おはようございます。本日は理事長・柏原寿光園副施設長が急用で欠席となりましたので、太寿副施設長が代わってご挨拶させていただきます。本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成30年度に入って初めての会議となります。新たなメンバーもいらっしゃいますので、まずは自己紹介をいたしましょう。（出席者全員自己紹介を行う）

2 前回の懸案事項の回答・報告

特にございません。

③ 特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告・ヒヤリハット等の報告(別紙により報告) 特養担当者・・・

【入居申込みや相談の状況】

◇ここ最近では申し込み実績の少ない状況で経過していましたが、今週は3・4月ともに3件ずつ入居申し込みをいただきました。中には移転・新規オープンした柏原寿光園を希望されている方の“併願”的な形での当方への申し込みも含まれております。

◇「待機者数」の数字でも如実に表れていますが、入居申し込み待機者数の内、約6割が要介護3で認定されている方です。一般的に「要介護3」の方は、脚力面・認知機能面において不安定な状態の方が多く傾向にあります。そのため、在宅生活を継続するにあたり、強い負担感を抱いておられる介護者が多いとも言われており、施設への入居を希望される方も多くいらっしゃいます。

厚生労働省が示している現状の入居選考指針では、要介護度が高い方がより優先度が高いと判定される仕組みになっています。当方でも空きができたなら順位が高い方から選考対象にすることが基本であることから、必然的に要介護5・4の方を選考する確率が高くなります。これは他の特養でも同様であることから、要介護5の方は早く入ることができて、要介護3の方にはなかなか声がかからないといったのが実情です。

【入居者様の状況】

◇今冬は全国的にインフルエンザが流行し、3月になってもなかなかその勢いは弱まりませんでした。4月への月替わりの頃から急激に気温が上昇したことを受けてリスクが軽減したと判断し、当施設でのインフルエンザ対策も3月末日で終了としました。利用者様・家族様をはじめ皆様にご協力いただいたおかげで、特養太寿におきましては今年もインフルエンザに感染・発症された方はおられませんでした。また、職員についてもインフルエンザに感染した者は期間を通して1名だけということで、感染症対策の効果が発揮されたと分析しております。

◇抵抗力の低下した高齢者にとって、季節の変わり目は体調コントロールの難しい季節です。その中でも特に心配だったのが、共に御年90歳代半ばを迎えておられる2階東の入居者2名で、両名とも3月の中旬以降に食事摂取量が極端に少ない日が続きました。家族様にも状況を報告し、みんな話し合いを行い、少しでも摂取量が向上するように工夫を行いました。その後、無事に摂取量に若干の回復の兆しが見え、健康状態を維持することができています。両名の家族様もホッと胸をなでおろされているところです。

【退居】

②階東 女性・92歳・要介護4

食事摂取が進まない状況があると先程報告した方です。

5/7(月)未明、太寿にて静かに息を引き取られました(今春に看取り介護契約は既に締結しておりました)。眠るように旅立ちになられたようで、穏やかな表情をされていました。太寿がオープンした“初期メンバー”のお一人で、他の入居者やスタッフからも愛される方でした。7年に亘る太寿での生活に家族様とも色々と思い出話をし、感謝の言葉をいただきました。

【入居】

3・4月ともに入居者様の入れ替わりはありませんでした。退居に伴う新規入居者の選考を、近日中に行う予定です。

【医療機関に入院】

3階西 女性・83歳・要介護4

2月から入退院を繰り返されています。腎臓や肝臓の悪化を主因として食欲不振が見られ、病院にて治療を受けておられます。ご本人・ご家族共に太寿に戻りたいという希望が強く、それを励みに頑張っておられます。ただ、改善の兆しの見通しについては厳しいものがあり、今後の受け入れ・転院について家族様と協議しているところです。

【最近の取り組み】

※別紙「ここのところの様子」をご参照ください。

◇感染症対策の一環で中止にしていたボランティア様訪問による全体イベントを、4月から再開いたしました。再開と同時に、たくさんのイベントを開催しました！！入居者様はもちろんのこと、ボランティアの皆様も再開を楽しみに待っておられた方が多く、イベント開催時には喜びの笑顔がたくさん見られました。

[この間に開催したボランティア様によるイベント]

もこちゃんと遊びましょう！（アニマルセラピー）・おはなしぼん（本・紙芝居・手遊びなど）・Rin Rin（コーラス）・いきいき歌体操・キララ（コーラス）・ギターと歌の会・二胡演奏会・琴なでしこ（大正琴）・きらきら団（ハーモニカ・手遊び・手品）・ニュースポーツ

◇桜の花見❀、今年も各ユニットで出かけました！

行き先 = 竜田の里公園・原川～関西女子短期大学・サンヒル柏原・旧柏原寿光園…等々

急激に温かくなったこともあり、今年は例年以上に桜の開花が早かったですね！4月に入ってから外出では、既に葉桜になっていました。それでも、麗らかな春の陽気を感じることができ、皆様からもステキな笑顔が見られました！

◇3/31（土）に恒例の「出張デパート」を開催しました！衣類を中心に普段できないショッピングを楽しんでいただくことができました。事前にお伝えしていたこともあり、家族様にも多数ご参加いただき、親子で買い物を楽しまれている光景は微笑ましかったです。

◇こども食堂&学習支援は、毎週木曜日の開催も定着してきました。平均すると15～20名の子供達が参加し、地域の皆様の支援を得ながら実施が継続できています。課題は多々ありますが、運営については軌道にのっていると思います。当法人の社会貢献の一環として、今後も地道に活動を継続していきます。

4 グループホーム太寿 活動状況報告・ヒヤリハット等の報告

※グループホーム担当者・・・

【入退居状況】

退居 3月より医療機関に入院していた男性入居者様が、ご家族様からのお申し出で4月10日に退居されることになりました。

入居 4/25に女性1名様にご入居していただきました。早い段階でグループホームの雰囲気
に馴染まれ、穏やかに過ごされています。

【行事やレクリエーション】

《3月》

- 6日～21日 ファミレスへ「おやつレク」で、ケーキを食べに行きました。
- 15日 ひき肉たっぷりのコロッケを、皆さんと一緒に手作りしました。
- 18日 手作りケーキをいただきました。
- 25日 天気の良い休日に、施設内屋上にて紅茶とおやつを楽しみました。

《4月》

- 1日 桜のお花見に出かけました（藤井寺 大井ふれあいランド）
- 18日 恒例！餃子レクを行いました。
※2月から始めて3回目となります。次回は5/15（水）の予定。
- 22日 信貴山付近へドライブに行く（のどか村、とっくり湖）

【これからのグループホーム 太寿】

- 花々が咲き誇るこれからの時期に、5月30日（水）外出レクリエーションとして、奈良の馬見丘陵公園へ出かける予定です。
- ユニット内での楽しみとして、ビデオ鑑賞やレクリエーション内容を、さらに充実したものになるよう工夫をしていきます。
- 暑さがだんだんと厳しさを増していきますが、酷暑の季節になる前に、天候や体調をみながらできるだけ屋上や施設敷地内を散歩する機会を作っていきます。
- 地域交流スペースで行われるボランティア様による合同レクに積極的に参加することにより、歌に笑いに楽しさを感じていただくように努めます。
- 餃子レクのように毎月の定期行事を継続し、新しい企画も検討していきます。

5 その他

要望・助言内容（主な事柄のみ掲載）

◇**地域住民代表**・・・

餃子レクはとても良い取り組みだと思います。食べる際ののど詰めをはじめとして、高齢者に対する工夫はどのようにされているのでしょうか？

→（グループホームリーダー）

現在の入居様は嚥下状態が比較的良好な方が多いですが、食材の固さや大きさにはもちろん留意し、召し上がられる際には見守りと声かけを行っております。このレクは食べることに以上に、スタッフと一緒に手作りをさせていただくことに目的があります。作業をしながら昔話に花が咲いたり、喜びの表情に満ち溢れたり、とても良い雰囲気を醸し出すことができます。

◇**柏原市職員**・・・

今冬は全国的にインフルエンザが猛威を振りましたが、特養では1人も感染者が出なかったのは素晴らしいことだと思います。施設としての感染防止策はどのようにされていたのでしょうか？

→（特養担当者）

例年通りの感染症対策を行いました。一般的な対策と大きくは変わらず、特別なことを行ったという訳ではありません。

高齢者施設での対策の基本は“施設にウィルスを持ち込まないこと”と考えています。媒介の可能性が最も高い職員は日頃から体調管理に努め、出勤前の検温と体調が怪しいと思われる時は出勤せずに医療機関で診察を受け、その結果に基づいて出勤の可否を判断するといったことを徹底して行いました。体調が怪しい場合は休んでもらい、欠員ができたところは全スタッフが協力体制をとりました。面会のご家族様にもご協力いただき、体調が優れない場合の面会禁止、事務所受付での問診、入館前の手洗いとマスク着用、外出をできるだけ控えていただく、といった内容をお願いいたしました。

このような形での対策が功を奏したものと胸を撫でおろしています。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

※次回の運営推進会議は、「7月10日（火）午前10時30分～」の予定です。